

札幌北部の発展とともに歩む

流域一体となった治水事業

宅地開発が進む
伏籠川流域



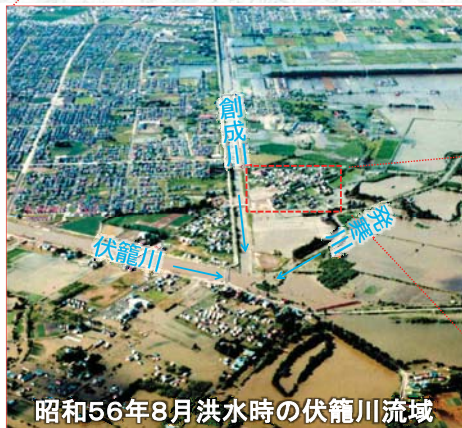
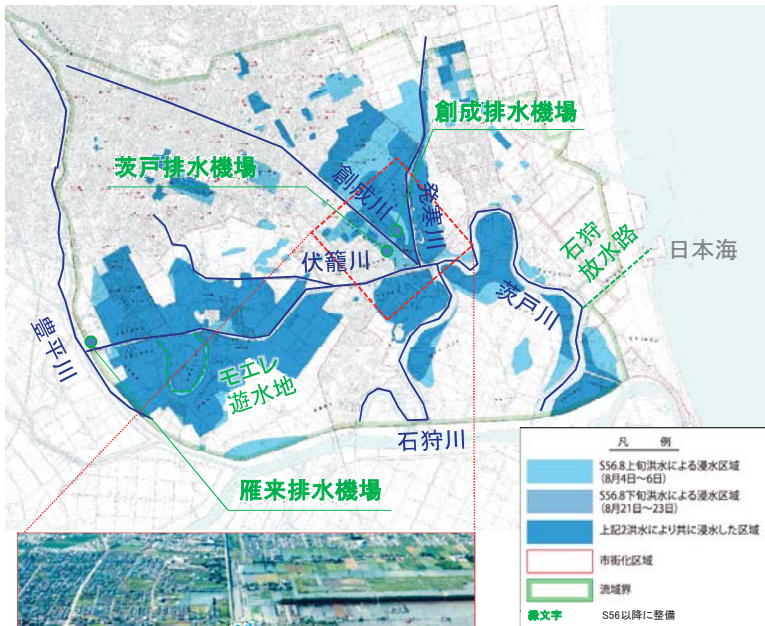
(昭和54年)



流域の浸水被害(S56.8洪水)

● before >>>

- 札幌市北部の低平地帯では、昭和56年8月の洪水により、大規模な浸水被害が発生。
- それ以降も度々洪水による浸水被害を受けている。



昭和56年8月洪水時の伏籠川流域



札幌市北区
茨戸北商団地

伏籠川流域の都市化と対策

● after

- 都市化による洪水被害を軽減させるため、各機関が連携して総合治水対策事業を実施。住民の命と暮らしを守り、流域の発展に貢献。

伏籠川総合治水対策による整備例



河道整備



石狩放水路(S57年完成)



モエレ遊水地 (H16年完成)



雁来排水機場(S61年完成)

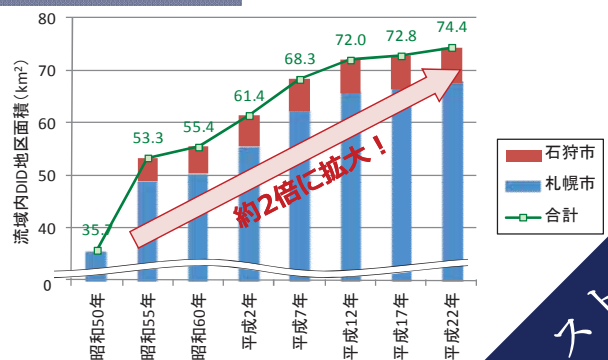


小学校における雨水貯留



創成川水再生プラザ
雨水貯留管 (H9年完成)

人口集中地区の拡大



約2倍に拡大!

ストック効果